

承認番号： NDU-T2024-49

研究課題名： 頭蓋顔面領域の形態分析における手法の特性と精度

研究責任者（所属・職位・氏名）： 附属病院矯正歯科・准助教 ・ 宮下 渉

分担研究者（所属・職位・氏名）： 附属病院矯正歯科・助教 ・ 舘 晶彦

： 附属病院矯正歯科・助教 ・ 藤原 由梨

： 附属病院矯正歯科・レジデント ・ 安齋 真梨子

： 附属病院矯正歯科・レジデント ・ 岩波 詩歩

1. 研究概要

1) 研究の意義：

矯正歯科治療の治療計画立案の際に、顎顔面形態の詳細にわたる分析は非常に重要です。頭部エックス線規格写真や顔面写真は、広く分析に用いられてきましたが、近年ではコンピュータ断層撮影（CT）画像を用いた三次元的な分析も行われるようになってきました。しかし、それぞれの分析方法の精度の問題や分析担当者により結果に差が生じる可能性があり、統一した見解が得られていません。そこで本研究により、それぞれの分析方法の特性や相互関係を明らかにすることは、矯正歯科治療の質の更なる向上につながると考えます。

2) 研究の目的：

頭部エックス線規格写真、顔面写真、CT画像ならびにCTデータより三次元プリンタを用いて造形された模型（造形模型）を用いたそれぞれの分析方法の比較検討を行うとともに、分析担当者による結果の相違の特徴を検出し、各分析方法の特性や相互関係を包括的に明らかにします。

2. 研究方法

1) 研究対象者：

2012年4月1日から2029年12月31日の期間に日本歯科大学附属病院の矯正歯科に来院した患者さんから無作為に100名を選出します。

2) 研究期間：倫理審査委員会承認後～2030年3月31日

3) 方法：

頭部エックス線規格写真、顔面写真、CT画像ならびに造形模型を用いて、解剖学的特徴点を選定し、線計測や角度分析を行い、分析方法間や分析担当者間での分析値を比較し、各分析方法の特性や相互関係を明らかにします。

4) 使用する試料・情報の項目：

正面・側面頭部エックス線規格写真、顔面写真、CT画像、造形模型、口腔内写真、パノラマエックス線写真、平行模型、年齢、性別を用います。なお、本研究の実施に際して追加の検査や資料採得は行いません。

5) 情報の管理方法と保護：

本課題はヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則および臨床研究に関する「人を対象とする医学系研究倫理指針（平成26年施行 平成29年一部改正）」を遵守して実施します。患者さんの個人情報の取り扱いには十分に注意し、関連する法規制等を遵守して、漏洩、紛失または不用意な開示などが為されないように個人に関する情報を匿名化します。

3. 研究に関する本学の問い合わせ・連絡先

氏名：宮下 渉

連絡先：日本歯科大学附属病院矯正歯科

〒102-8158 東京都千代田区富士見 2-3-16

TEL 03-3261-5511